

化粧品開発における使用感の 感性価値・官能評価と物性評価

講師： 野々村 美宗 氏

山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学専攻 教授

官能評価は食品・衣料・化粧品から自動車・情報機器・ロボット・まであらゆる商品開発の現場で使われる必須のツールです。しかし、使用者の感じた感覚を正確に評価し、商品設計やマーケティングに結び付けるのは難しいものです。このセミナーでは、化粧品開発の現場においてアンケートを設計、得られたデータを解析し、商品設計の基本になる物性に結び付ける方法を、具体例を交えて説明します。

【講師経歴】

花王(株)入社。化粧料、身体洗剤の商品開発研究に従事。2007年より山形大学大学院理工学研究科准教授 2017年より教授。

【活動内容】

- 研究概要： 界面科学、化粧品学、エマルジョン製剤・触感に着目した材料の開発
- 所属学会： 日本化学会、日本物理学会、日本油化学会、色材協会、日本化粧品技術者会
- 著書： 『化粧品 医薬部外品 医薬品のための界面化学』フレグランスジャーナル社(2015年)

開催日時	2017年5月12日(金) 10:30~16:30	【会場】	ちよだプラットフォームスクウェア 503会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
受講料	49,000円(税込) ※資料代・昼食代含 *メルマガ登録者 44,000円(税込) *アカデミック価格 35,000円(税込)		

★2名同時申込で両名とも会員登録をいただいた場合2人目は無料です。★アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。★【セミナー対象者】化粧品・食品・医薬品・化学品およびその原料メーカーに勤務する研究者・技術者。基礎からわかりやすく解説しますので、予備知識は不要です。

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 官能評価とは?
2. 官能評価に影響を及ぼすファクターとそのコントロール
3. 官能評価用質問紙の作り方
4. 官能評価データの解析
5. 感覚に関する機器分析の一般的な考え方
6. 手触り・触感のメカニズムと定量化技術の最新動向

弊社記入欄		セミナー申込書		
セミナー名		化粧品開発における使用感の感性価値・官能評価と物性評価		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		会社名(団体名)	TEL:	
		住所 〒	FAX:	
			E-mail:	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職	氏名
お支払方法		銀行振込・その他		お支払予定
				年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号

03-3291-5789